

パナソニック創業100周年特別記念展

# 日本の四季

## 近代絵画の巨匠たち

FOUR SEASONS IN JAPAN  
PAINTED BY MODERN MASTERS

2018年

4月2日(月)～4月15日(日)

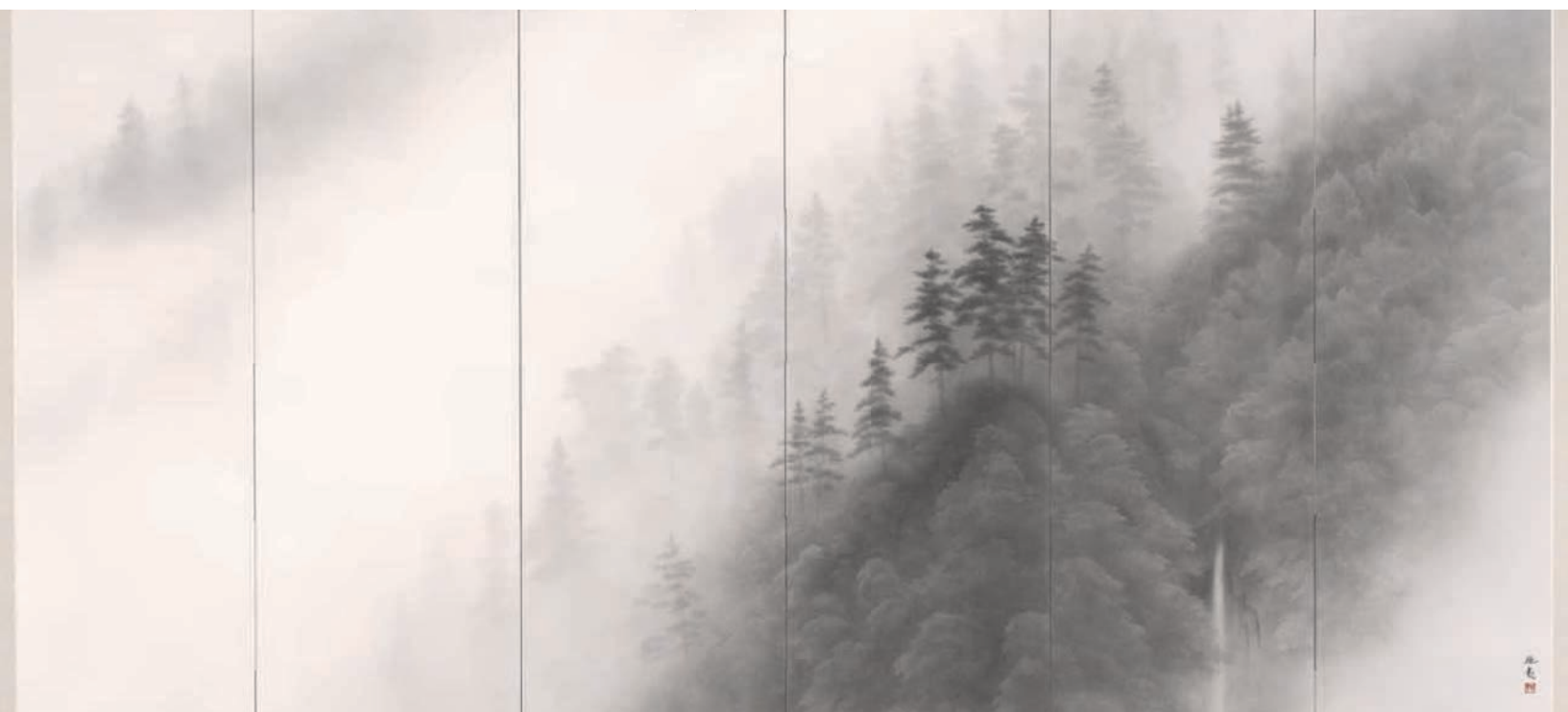
会期中無休 開館時間 午前10時より午後6時まで(入館は午後5時30分まで)

入館料 一般：500円、学生：無料 ◎20名以上の団体は100円割引 ◎障がい者手帳をご提示の方、および付添者1名まで無料でご入館いただけます

主催：パナソニック株式会社 後援：港区教育委員会 企画：パナソニック 汐留ミュージアム

Shiodome Museum  
ROUAULT GALLERY

パナソニック  
汐留ミュージアム



東山魁夷《山峽朝霧》1983年

100

パナソニックは創業100周年

# 日本の四季

松下幸之助(1894-1989)が大坂に松下電器器具製作所(現パナソニック)を創設してから100年。その節目の年に、パナソニックが収蔵するコレクションのなかから、四季を表わした日本の近代絵画を初めて一堂に会します。

日本の四季は変化に富み、人々の暮らしや景色のなかで様々な表情を見せることにより、古くから多くの芸術家の創作意欲を刺激してきました。それは明治以降の画家たちも同様で、風景や衣類、食べ物などを題材に季節感あふれる作品を残しています。一方、松下も「いろいろな姿で巡ってくる四季によって、私たちは適当な緊張と適当な気楽さを味わうことができ、自然の恵みを受けることができる。日本のこのはっきりとした季節の変化が日本人の優れた特質を育んでいるし、季節によって変わる食が、繊細な心とゆかしさを持つ日本人の身体を形成するのだろう」と述べています。四季は私たちの暮らしを豊かにし、ゆとりを与えてくれるのです。

本展では四季をテーマとした約60点の作品を展示いたします。日本画から油彩画にいたるまで、風景や植物、鳥など様々な観点から日本の四季の美しさを表現した作品群です。川合玉堂(1873-1957)や竹内栖鳳(1864-1942)、梅原龍三郎(1888-1986)、堂本印象(1891-1975)、東山魁夷(1908-1999)といった日本近代美術史を彩る巨匠たちの作品に親しんでいただける展覧会です。



堂本印象《朝陽》1928年



川端龍子《五羽鶴》制作年不詳

## FOUR SEASONS IN JAPAN PAINTED BY MODERN MASTERS



橋本明治《舞妓》制作年不詳



### ●学芸員によるギャラリートーク

2018年4月6日(金) 午後2時～  
参加無料(本展観覧券が必要です)、申込不要

### ●同時開催

ルオーギャラリーにて、当館所蔵のルオー・コレクションを展示しております。併せてご覧ください。

※表面、裏面ともにすべてパナソニック株式会社蔵



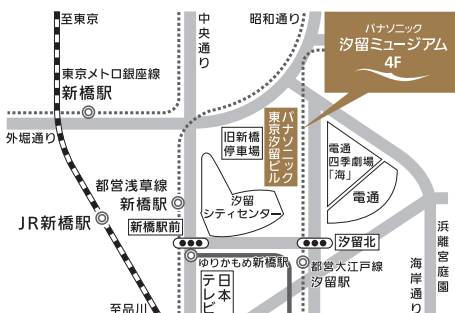
竹内栖鳳《白鷺》制作年不詳



川合玉堂《雪景の図》制作年不詳



奥田元宋《遠山早雪》1978年



JR「新橋」駅より徒歩約8分、東京メトロ銀座線・都営浅草線・ゆりかもめ「新橋」駅より徒歩約6分、都営大江戸線「汐留」駅より徒歩約5分

### 次回予告

ジョルジュ・ブラック展  
絵画から立体への変容—メタモルフォーシス  
2018年4月28日(土)ー6月24日(日)

Shiodome Museum  
ROUAULT GALLERY

パナソニック  
汐留ミュージアム

東京都港区東新橋1-5-1 パナソニック東京汐留ビル4階  
お問い合わせ ハローダイヤル 03-5777-8600  
<http://panasonic.co.jp/es/museum/>